

# 学内の喫煙実態に関する一考察

西尾 優希 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 中菌 伸二

キーワード：喫煙，タバコ，文化

## 1. 緒言

Aスポーツ系大学では、2003年の開学当初よりキャンパス内全面禁煙という取り組みを実施している。Aスポーツ系大学は、生涯スポーツ学科と競技スポーツ学科の2学科のみの大学であり、他大学に比べてスポーツや健康について興味・関心を持っている学生が多いと考えられる。しかし、実際にはA大学の学生の中にも喫煙者は何人かいる。

学内全面喫煙の成果としては、十分な成果が上がっていると考えられるが、学外においては学校から出てすぐ近くの食堂で喫煙をしている姿が多々見られる。また、ボヤ騒ぎがあったことも学外での現状である。Aスポーツ系大学学生の喫煙状況、学内全面禁煙及び大学周辺禁煙の取り組みに対する学生の感想・意見、喫煙に関する意識などについて調査した。

## 2. 研究方法

### 1, 時期・対象・方法

調査対象は、Aスポーツ系大学における2003年～2014年の1～4年次の学生で、2014年の調査対象は、全学年で1095名である。2014年の調査結果を中心に2003年から2014年のデータを分析した。

無記名・自記式の質問用紙調査結果に基づき、喫煙に関する実態を探っていく。

## 3. 結果と考察

Aスポーツ系大学学生の煙者率の年次推移において男女とも特徴的なのは、開学当初に比べ喫煙者率が低下している。男女ともに見られることは、成人を迎える2年次から3年次にかけて喫煙者率が増加傾向にある、また、喫煙している学生は、喫煙は文化と考えている学生が多いことも明らかになった。

## 4. まとめ

今回の研究により、Aスポーツ系大学学生の喫煙者率は、2003年と2014年とを比べると、2014年の方が減少していることが明らかである。また、入学前と入学直後を比べると、入学直後に喫煙率はわずかではあるが減少している。喫煙者と非喫煙者とは、タバコが文化であることについて大きく意見が分かれた。非喫煙者よりも喫煙者の方が、喫煙を文化と捉え、喫煙の効用を認めるなどの喫煙容認傾向が示唆された。

## 引用・参考文献

磯村毅 (2007) リセット-タバコ無用のパラダイス. 幻冬舎出版.

小浜明ほか (2005) 大学における構内全面禁煙ポリシー評価 (中間発表) びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要. (2) : 81~91.

厚生省 (1999) 平成10年度喫煙と健康に関する実態調査.

中菌伸二ほか (2011) スポーツ大学生の喫煙についての意識・実態調査. 学校保健研究. 53 (Suppl.). 279.